

ASAGAO通信



ポーランドの最新情報を現地からお届けします

AUGUST 19, 2020, ISSUE 21

<https://asagao.pl>

info@asagao.pl

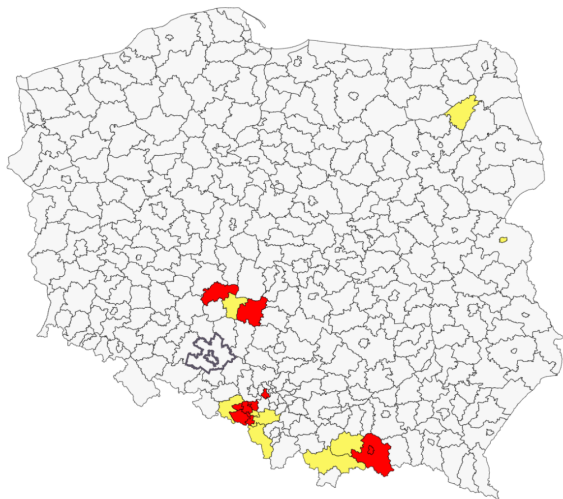
新型コロナウイルスの最新情報

一部地域での感染拡大・対面授業再開へ

8月8日、ポーランドではCOVID-19の感染が確認されて以来史上最多2番目となる843名の新規感染者が確認された。今号では最近のポーランドのコロナウイルスに関する情報を端的にご紹介したい。

○感染拡大防止のため、規制強化

8月8日より、ポーランド国内の一部地域において規制が強化された。シュモフスキ保健大臣の会見によると、感染が深刻である地域が赤と黄色に分けられ、それぞれの制限が課されるとのことだ。より厳しい制限が適用される赤ゾーンでは、人が密集する恐れのある場所の閉鎖や公共の場でのマスク着用、交通機関の乗車定員を座席数の50%までに定めるなどの制限が行われることとなった。



○教育機関の再開時期に関する決定

8月12日に同国教育大臣ピオントゥコウス氏は、9月1日より感染拡大が認められる一部地域を除き原則全ての学校で対面授業を再開すると発表した。同省では学校の再開に向け、「安全に学校生活を送るための特別なガイドライン」を作成した。これには熱や咳がでたら学校に行かない、手洗いの徹底等10の決まりが明記されている。大臣によると、特定の地域で感染者が急増した場合には衛生管理官が学校に遠隔授業に切り替えるよう指示ができるという。また、校内で感染者がでたり、地域で流行が始まった際には、一部生徒は対面授業を受け、一部生徒はオンライン授業を受けるという「混合システム」の実施も検討すると言及した。

クラクフ発：世界に進出するスタートアップ企業

Synerise

創業：2013年

従業員数：200人強(2019年時点)

分野：IT系

所在地：クラクフ

創業者：JAROSŁAW KRÓLEWSKI氏
(ヤロスワフ・クルレフスキ)

<企業概要>

AIを活用した各種マーケティング、ビッグデータ分析ツールの開発・販売。

同社はポーランドで最も注目を浴びているスタートアップ企業であり、AIやIT分野のアワードでたびたび表彰を受けている。

また、CEOのJAROSŁAW KRÓLEWSKI氏は2019年に、その年にAI分野で活躍した人材に送られる、AIアワードを受賞している。

2020年にはポーランドにおけるマイクロソフト社のカンントリーパートナーに任命されうなど、世界の大企業との協業も果たしている。

将来的には、アメリカへの進出と2022年頃のNASDAQ上場を目指している。

<特徴>

GOOGLE社等の既成製品を購入して組み合わせるのではなく、自社開発のAI技術を使用して製品作りをしている点に特徴がある。この完全独自の製品は、コストパフォーマンスに優れている点を高く評価されている。



[出典]
<https://strefainwestorow.pl/artykuly/wywiady/20190826/jaroslav-krrolewski-synerisehttps://www.forbes.pl/biznes/jaroslav-krrolewski-synerise-i-branzy-it-w-rozmowie-forbesem/tgv9dhttps://www.money.pl/gospodarka/biznes-mowi-czlowiek-ktory-ratuje-wisle-krakow-gosciem-jaroslawa-krrolewskiego-prezesa-synerise-645097054115713a.html>
<https://www.polskieradio.pl/395/7784/Artykuly/2364219.Poland-set-to-reopen-schools-as-virus-fears-easehttps://tm24.pl/polska/koronawirus-w-polsce-nowe-przypadki-zakazen-i-smierci-14-sierpnia-4664185>